

令和6年度 学校経営方針

教育目標

「和して遊び、ともに学び、心を磨く子」の育成を図る。

教育の目的は、人間尊重を基盤に、心身ともに調和のとれた人間性豊かな児童の育成にある。憲法・教育基本法をはじめ教育関係諸法令ならびに学習指導要領等の趣旨を踏まえ、児童ならびに地域社会の実態に即した教育活動を行う。

基本方針

現在の日本の子どもたちは、世界の子どもたちと比べて論理的思考力の不足や学習意欲、社会参画意識の低さなどが指摘される現状がある。また、A I など科学技術の進歩により現存する職業の半分は子どもたちの働く時代に存在していない可能性も指摘されている。それらの現状から、今日では子どもたちに「主体的・対話的で深い学び」が必要とされている。

「子どもたちがいてこそその学校・子どもが元気に活動していることが基本」というあたりまえの学校環境のために、子どもたちが**毎日、元気に登校できる学校**をめざす。また、学校生活をととして、社会生活に必要な資質である**コミュニケーション力や協調性を育成する**。

令和4年度より、国語の授業研究に取り組み、国語の授業を通して**全ての児童**が課題に向き合い、**主体的に活動**できることを追及している。また、授業の工夫・改善や学習規律の徹底、個に応じたきめ細かな指導の研究を継続するとともに、小中一貫校の一員として特色ある中学校区づくりを推進する。

さらに、保護者との連携により児童の生活習慣の確立、体力向上、心の安定を図っていくことが必要であることを踏まえ、学校が地域に根ざし、保護者・地域に信頼されるよう、教職員が**一丸**となり組織的に教育活動を展開し、積極的な情報発信を行う。また、昨年度よりコミュニティスクールとなったことを節目に、学校・家庭・地域社会の連携を一層強固なものとし、総合的な学校教育力の構築を進めていく。